I-O DATA

# IEEE 1394 TV チューナーBOX

## GV-MVP/IDV

# 取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

146491-01

# もくじ

お読みになる前に ..... 3
必ずお守りください ..... 4

## はじめに ..... 11

**箱の中には** ..... 12

**動作環境** ..... 14

パソコンに接続して使う ..... 14
DV機器に接続して使う ..... 15
接続できる映像機器 ..... 15

**各部の名称・機能** ..... 16

前面 ..... 16
背面 ..... 17

**スタンドを取り付ける** ..... 18

**本製品の使い方** ..... 20

パソコンに接続して使う ..... 20
DV機器を接続して使う ..... 21

## パソコンで使う ..... 23

**接続しよう** ..... ２４
電源コンセントとの接続 ..... ２５
アンテナとの接続 ..... ２６
映像機器との接続 ..... ２８
パソコンとの接続 ..... ２９

**認識させよう** ..... ３０

**確認しよう** ..... ３２

**インストールしよう** ..... ３４

**録画予約実行の準備** ..... ３６

**mAgicTVの初期設定をしよう** ..... ３７

**I-O DATA mAgicTVを使う** ..... ３９
テレビ／ビデオを見る ..... ３９
録画する ..... ４１
再生する ..... ４２
I-O DATA mAgicTVとは ..... ４３
それぞれの起動方法 ..... ４４

**I-O DATA Channel Commanderを使う** ..... ４５
I-O DATA Channel Commanderとは ..... ４５
起動方法 ..... ４５
他のソフトウェアで録画する ..... ４６

## DV 機器で使う ..... 49

**接続しよう** ..... ５０
電源コンセントとの接続 ..... ５１
映像機器との接続 ..... ５２
DV機器との接続 ..... ５３

**DVテープに録画する** ..... ５４

**困った時には** ..... 55

**付録** ..... 63

**本体での設定** ..... ６４
モードを切り替える ..... ６４
映像を出力しないようにする ..... ６５
音声の周波数を設定する ..... ６５
Locked Audioを設定する ..... ６６
本製品の設定を初期化する ..... ６６

**サポートソフトの削除** ..... ６７

**サービス品のソフトウェア** ..... ６８
入っているソフトウェア ..... ６８
インストール方法 ..... ６９
使用方法 ..... ７０

**IEEE 1394について** ..... ７２
IEEE 1394とは？ ..... ７２
IEEE 1394機器の接続方法 ..... ７２
IEEE 1394機器の接続可能台数 ..... ７４
IEEE 1394ケーブルの最大本数 ..... ７４
複数のIEEE 1394機器の取り外し ..... ７４

**用語解説** ..... ７５

**仕様** ..... ７９

お問い合わせ ..... ８０
修理について ..... ８３

# お読みになる前に

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

## 呼び方

| 呼び方 | 意　味 |
|---|---|
| **本製品** | GV-MVP/IDV |
| **Windows XP** | Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System,<br>Microsoft® Windows® XP Professional Operating System |
| **Windows 2000** | Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System |

## マークの説明

**注意**
本製品を使う上で、注意するべきことが書かれています。

**参考**
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

# 必ずお守りください

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

**This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.**

## 警告および注意事項

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠注意 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

## 絵記号の意味

△ この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「発火注意」を表す絵表示

⃠ この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

● この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

# ⚠ 警告

厳守

**本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守する**

電源プラグを抜く

**煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止する**

電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

分解禁止

**本製品を修理・改造・分解しない**

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

発火注意

**本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことに注意する**

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。

厳守

**本製品の取り付け・取り外しの際は、必ず本書で方法を確認する**

間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。

水濡れ禁止

**本体を濡らさない**

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

禁止

**濡れた手で本製品を扱わない**

感電や、本製品の故障の原因となります。

厳守

## ACアダプタについては以下に注意する

●必ず添付または指定のACアダプタを使用してください。
●電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
●電源コードをACコンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。コードを引っ張ると、断線または短絡して、火災および感電の原因となることがあります。
●電源コードの電源プラグは、濡れた手でACコンセントに接続したり、抜いたりしないでください。感電の原因となります。
●電源コードがACコンセントに接続されているときには濡れた手でパソコン本体に触らないでください。感電の原因となります。
●ACアダプタにものを乗せたり、かぶせたりしないでください。
●保温・保湿性の高いものの近くで使用しないでください。
（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）
●本製品を長時間使わない場合は、ACアダプタを電源から抜いてください。
ACアダプタを長時間接続していると、電力消費・発熱します。

# ⚠ 注意

禁止

**本製品は以下のような場所で保管･使用しないでください。**

故障の原因になることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（$Cl_2$、$H_2S$、$NH_3$、$SO_2$、$NO_X$など）
- ●静電気の影響の強い場所

≪使用時のみの制限≫

- ●保温、保湿性の高いものの近く（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）
- ●製品に通気孔がある場合は、通気孔がふさがるような場所

禁止

**本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。**

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない
- ●本製品内部およびコネクタ部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。

厳守

**本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。**

- ●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
- ●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
- ●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。

禁止

**本製品を結露させたまま使わないでください。**

時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。
本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、表面・内部が結露する場合があります。
そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。

禁止

**本製品内部およびコネクタ部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。**

厳守

**動作中にケーブルを激しく動かさないでください。**

接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因となることがあります。

注意

**本製品（ソフトウェア含む）は、日本国内仕様です。**

本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、およびアフターサービスなどを行っておりません。あらかじめ、ご了承ください。

厳守

**本製品のコネクタには触れないでください。**

コネクタに触れると静電気により、本製品が破壊されるおそれがあります。

# 使用上のご注意

## ●ケーブルは、コネクタを持って取り外す

ケーブルを取り外すときは、ケーブル部分ではなく、コネクタを持って取り外してください。

## ●ラジオやテレビジョン受信機に近接して使用しない

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

# ***Memo***

# はじめに

箱の中には …… 12

動作環境 …… 14

各部の名称・機能 …… 16

スタンドを取り付ける …… 18

本製品の使い方 …… 20

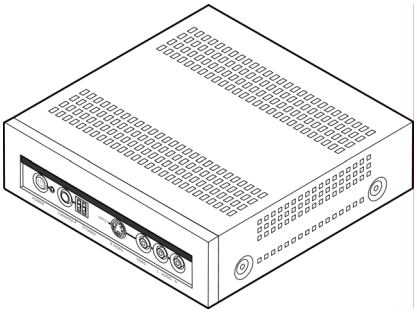
# 箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。

□にチェックをつけながら、ご確認ください。

万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

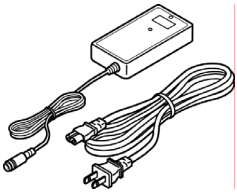
□ **TVチューナーボックス(1台)**
［GV-MVP/IDV］



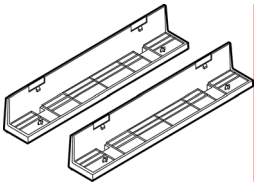
□ **IEEE 1394ケーブル(1本)**
［4-6ピン：約1m］

□ **ゴム足(4個×1枚)**

□ **ACアダプタ(1個)**



□ **スタンド(2個)**



□ **GV-MVP/IDVサポートソフト(1枚)** ［CD-ROM］

・I-O DATA mAgicTV
　（- mAgicTV　- mAgicガイド
　- mAgicマネージャ）
・I-O DATA Channel Commander for mAgicTV
・DirectX 9 ランタイム
・B.H.A XVD Encoder plus 機能制限版
・reserMail
・Adobe Photoshop Album Mini

☐ **Ulead 編集ソフト一式(1枚)** [CD-ROM]

・Ulead VideoStudio 7 SE（ビデオ編集ソフト）
・Ulead DVD MovieWriter Advance SE for mAgicTV
（DVDオーサリングソフト）
・Ulead PhotoImpact 8 SE（静止画編集ソフト）
・Ulead Cool 3D 3 SE（3Dタイトル作成ソフト）

☑ **GV-MVP/IDV取扱説明書(1冊)** [本書]

☐ **ハードウェア保証書(1枚)**

☐ **ユーリードシステムズ(株)ユーザ登録カード(1枚)**

**シリアル番号をメモしてください**

▼ここにシリアル番号(S/N)をメモしてください。

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | |

※ シリアル番号(S/N)は、本製品の底面に貼られているシールにある12桁の英数字（例：ABC1234567ZX）です。
シリアル番号(S/N)は、ユーザー登録・ダウンロードの際に必要です。

**●ユーザー登録 ⇒ http://www.iodata.jp/regist/**

**●ダウンロード ⇒ http://www.iodata.jp/lib/**

参考

**箱・梱包材は**
大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

**イラストについて**
実物と若干異なる場合があります。

**Uleadのソフトウェア、reserMailについて**
【サービス品のソフトウェア】(68ページ)をご覧ください。

# 動作環境

本製品を使うことのできる環境を説明します。

## パソコンに接続して使う

| | |
|---|---|
| **対応機種** | NEC PC98-NXシリーズ, DOS/Vマシン※1 |
| **対応OS** | Windows XP※2, Windows 2000 |
| **CPU※3** | Intel Celeron 550MHz以上, Pentium Ⅲ 550MHz以上, Pentium 4<br>AMD Athlon 550MHz以上, Duron<br>《Pentium 4以上推奨》 |
| **メモリ** | 64Mバイト以上《256Mバイト以上推奨》 |
| **ハードディスク** | UltraATA33以上の転送速度を持ち、150Mバイト以上の空き容量※4があること<br>《NTFSファイルシステムを推奨》 |
| **Windowsグラフィックアクセラレータ※5** | 解像度：800×600ドット以上<br>画面の色：16ビットハイカラー以上<br>DirectDrawオーバーレイに対応した環境※6 |
| **サウンド** | 必須 |
| **CD-ROMドライブ** | インストール時に必要 |
| **IEEE 1394ポート** | OHCI準拠IEEE 1394ポートを搭載していること |

※1 弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認をしています。
※2 「ユーザーの切り替え」には対応しておりません。「ユーザーの切り替え」を行う場合は、あらかじめ本製品に添付のソフトウェアを全て終了させてください。
※3 記載されているCPU以外には対応しておりません。
※4 録画保存用には、別途1分につき約220Mバイト必要です。
※5 種類やVRAMの容量によって表示条件(解像度、色数、リフレッシュレートなど)が制限される場合があります。
※6 サポートソフトからDirectX 9をインストールすることができます。

**他のキャプチャ製品との併用はできません**
他のキャプチャ製品をお使いの場合、あらかじめ全て取り外し、それらの製品をアンインストールしてください。

## DV 機器に接続して使う

| | |
|---|---|
| **DV機器** | DV端子を持ち、DVデータの入力に対応したDV機器 |

## 接続できる映像機器

接続する映像機器は映像（ビデオ）出力端子のあるものをご用意ください。
また、本製品との接続のためにはコンポジットケーブルまたはSビデオケーブルが必要です。電化製品販売店などでお求めください。

・ピンプラグ形状の映像出力端子を持つ映像機器
・Sビデオの映像出力端子を持つ映像機器

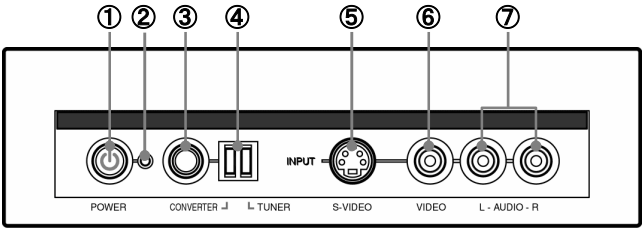
**映像機器との接続について**
「Sビデオケーブル」と「コンポジットケーブル」では、「Sビデオケーブル」を使って接続した方がはっきりと表示されます。

**一部のビデオ機器・ゲーム機の映像は正しく表示されない場合があります**
あらかじめご了承ください。

**著作権保護機能が入っている映像は表示・録画できません**
DVDソフトなどの、著作権保護機能が入っている映像は、表示および録画できないようになっております。あらかじめご了承ください。

# 各部の名称・機能

## 前面




| | |
|---|---|
| **① 電源スイッチ** | 本製品の電源を入／切します。 |
| **② 電源ランプ** | 本製品の電源が入ると、青く点灯します。 |
| **③ モード切替スイッチ** | モードを切り替えます。<br>【モードを切り替える】(64ページ) |
| **④ モードランプ** | 点灯：現在のモードを表します。<br>点滅：コピーガード信号を認識し、本製品からの映像出力を停止しています。 |
| **⑤ Sビデオ入力端子** | 映像機器からの映像を入力します。 |
| **⑥ ビデオ入力端子** | |
| **⑦ 音声入力端子** | 映像機器からの音声を入力します。 |

参考

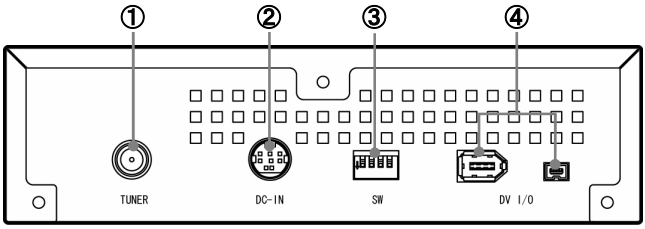
**コンバートモード(CONVERTER)**
本製品に接続した映像機器から入力された映像を、DV端子より出力します。

**チューナーモード(TUNER)**
本製品のチューナーを使って、テレビ番組をDV端子より出力します。

注意

**パソコンに接続中はモード切替スイッチを押さない**
パソコンに接続し、mAgicTVやChannel Commanderで本製品を使う場合、モード切替スイッチを押すと、正しく動作しなくなるおそれがあります。

# 背面




| | |
|---|---|
| **① アンテナ入力** | アンテナと接続します。 |
| **② DCジャック** | 添付のACアダプタで電源コンセントに接続します。 |
| **③ 初期設定スイッチ** | 本製品の設定を行います。<br>【音声の周波数を設定する】(65ページ)<br>【Locked Audioを設定する】(66ページ)<br>※ 左側２つのスイッチを使用します。<br>それ以外のスイッチは、OFFのまま変更しないでください。 |
| **④ DV(IEEE 1394)端子** | ここからDV形式のデータを出力します。 |

# スタンドを取り付ける

本製品を設置する前に、添付のスタンドを取り付けます。

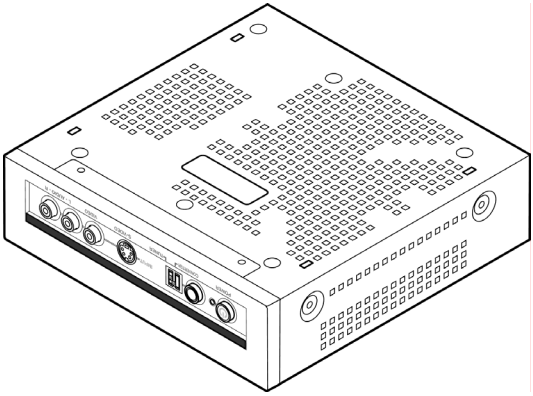
注意

**スタンドは必ず取り付けてください**

スタンドを取り付けないと、下からの放熱ができないため、本製品が正しく動作しない恐れがあります。

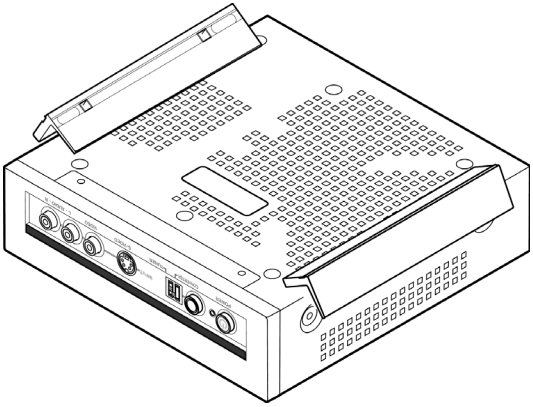
## 1 本製品を裏返します。

本製品の製品名が上下逆になるように置きます。



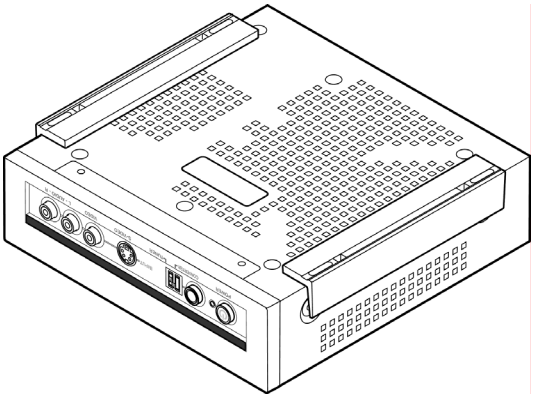
## 2 スタンドにある＋状の突起を本製品底面の穴に合わせます。

本製品の横に当たる部分が浮くようにするのがコツです。



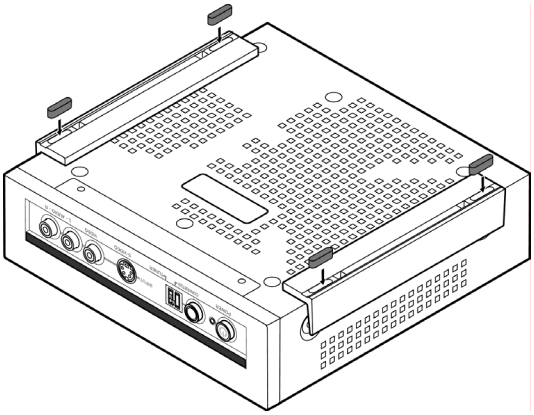
### 3 スタンドを本製品に取り付けます。

スタンドを押し、本製品にぴたりと合うようにします。
⇒カチッと音がし、スタンドが本製品に固定されます。



### 4 ゴム足を本製品に取り付けます。

スタンドにゴム足を４つ貼り付けます。



### 5 本製品をお使いください。

# 本製品の使い方

本製品には、２つの使い方があります。
使い方によって作業が異なりますので、まずは使い方を決めてから先にお進みください。

## パソコンに接続して使う

本製品をパソコンに接続することで、下のような使い方ができます。

### ●テレビを見る・録画する

本製品にはTVチューナーが付いていますから、アンテナと接続することでパソコン上でテレビを見ることができます。
もちろん、予約録画などの機能もありますから、パソコンをハードディスクレコーダーとしてお使いいただくことも可能です。

### ●ビデオなどのアナログデータをデジタルデータに変換

本製品には外部入力が付いていますから、ビデオデッキなどの映像機器と接続することで映像機器からの映像を入力することができます。
そのまま録画することで、アナログデータをデジタルデータに変換できます。

参考

**本製品で録画できるファイル形式**

本製品では、AVI(DV形式)で録画することができます。

**AVI(DV形式)の利点**

・ビットレートに換算して25Mbps！
DVDビデオを上回る高画質のデジタルデータとなります。

・フレーム単位で編集ができる
フレーム単位でのみ圧縮を行うため、フレーム単位で高精度な編集が可能となります。
動画編集にこだわる人に最適のデータ形式です。

・音声データは無圧縮のため、高音質

【パソコンで使う】(23ページ)

# DV 機器を接続して使う

本製品にDV機器を接続することで、下のような使い方ができます。

### ●ビデオなどのアナログデータをDVテープに保存

本製品には外部入力が付いていますから、ビデオデッキなどの映像機器と接続することで映像機器からの映像を入力することができます。
そのままDV機器を録画状態にすることで、アナログデータをDVテープに保存できます。

### ●テレビ番組をDVテープに録画する

本製品をパソコンに接続することで、パソコン上でテレビを見ることができます。
その際に、DV機器も接続するとDVテープにテレビ番組を録画できます。

注意

**テレビ番組の録画にはパソコンが必要です**
本製品を操作するために、パソコンとの接続が必要となります。
必ず、パソコンとDV機器の両方に接続してください。

【DV機器で使う】(49ページ)

# ***Memo***

# パソコンで使う


接続しよう……24

認識させよう……30

確認しよう……32

インストールしよう……34

録画予約実行の準備……36

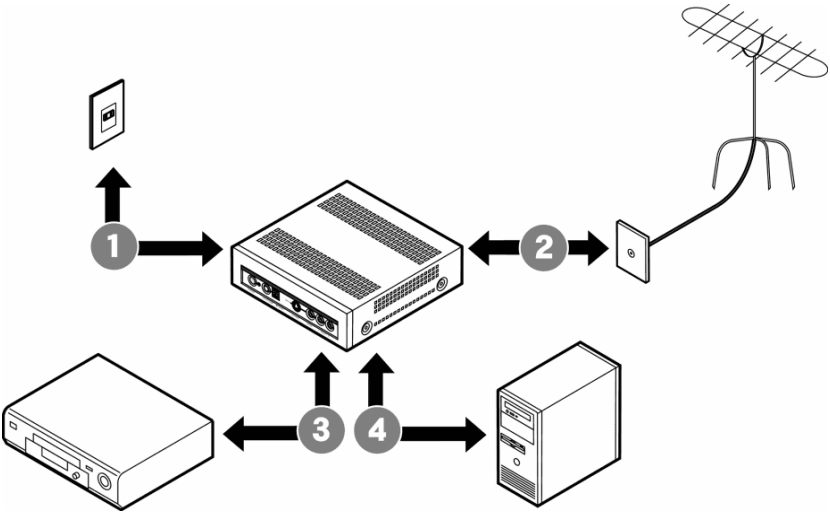
mAgicTVの初期設定をしよう……37

I-O DATA mAgicTVを使う……39

I-O DATA Channel Commanderを使う……45

# 接続しよう

本製品を接続する手順を説明します。




参考

**作業する前に**

本製品には「アンテナケーブル」、「ビデオ（Sビデオ）ケーブル」や「オーディオケーブル」は添付されておりません。
あらかじめ、別途ご用意ください。

**映像機器との接続について**

「Sビデオケーブル」と「コンポジットケーブル」では、「Sビデオケーブル」を使って接続した方がはっきりと表示されます。

**一部のビデオ機器・ゲーム機の映像は正しく表示されない場合があります**

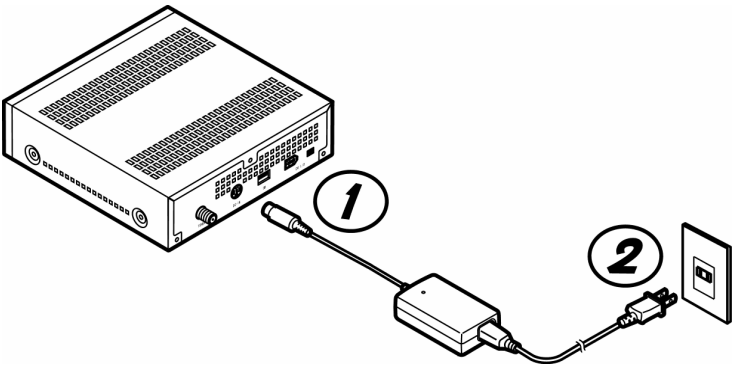
あらかじめご了承ください。

# 1 電源コンセントとの接続

## 1 添付のACアダプタを接続します。

本製品の「DCジャック」に、添付のACアダプタを接続します。

## 2 電源コンセントと接続します。



# 2 アンテナとの接続

参考

**テレビを受信しない方へ**

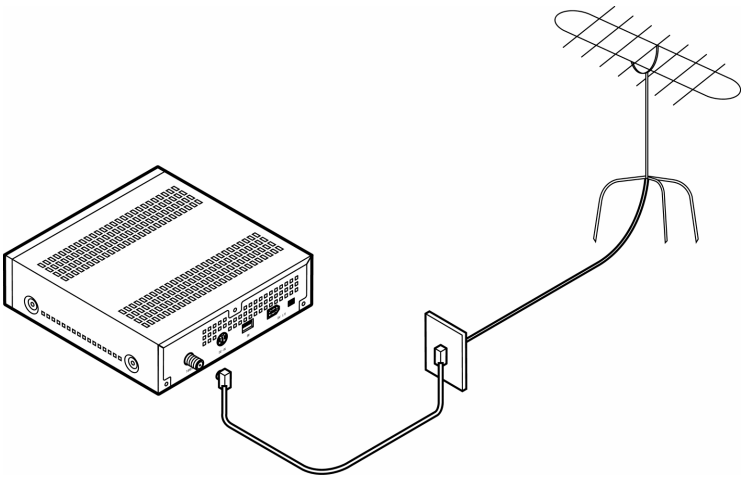
ここの作業は、本製品でテレビ番組を受信する方のみ必要です。
外部入力のみお使いになる場合は、アンテナとの接続は必要ありません。

**外部アンテナに接続されたアンテナ線をお使いください**

室内アンテナや共同アンテナでは電波がきれいに受信できない場合があります。

## ●テレビアンテナと接続する

本製品の「アンテナ入力」に「アンテナ線」を接続します。



参考

**地上デジタル／衛星放送は受信できません**

ご了承ください。

**CATVの場合、専用チューナーへの接続を必要とする場合があります**

次ページの接続方法をご覧ください。

## ●ケーブルテレビの専用チューナーと接続する

参考

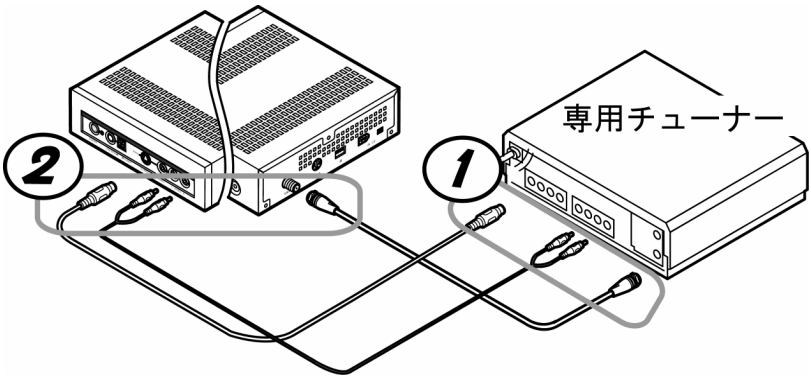
**この場合、映像機器は接続できません**
映像機器を接続したい場合は、専用チューナーを取り外してください。

### 1 専用チューナーにケーブルを接続します。

・「ケーブル出力」に「アンテナケーブル」を接続します。
・「音声出力」に「オーディオケーブル」を接続します。
・「Sビデオ出力」に「Sビデオケーブル」を接続します。

### 2 ケーブルのもう片方を本製品に接続します。

・「アンテナ入力」に「アンテナケーブル」を接続します。
・「音声入力」に「オーディオケーブル」を接続します。
・「Sビデオ入力」に「Sビデオケーブル」を接続します。




参考

**Sビデオで接続できない場合**
本製品の「ビデオ入力」とホームターミナルの「ビデオ出力」を「コンポジットケーブル」で接続することもできます。
ただし、「Sビデオケーブル」を使って接続した方がはっきりと表示されます。

**この方法で接続した場合**
・ケーブルテレビを見るには、専用チューナーを接続したビデオ入力を選ぶ必要があります。
・ケーブルテレビのチャンネルはチューナー側で変更してください。

# 3 映像機器との接続

参考

**映像機器からの映像を入力しない方へ**

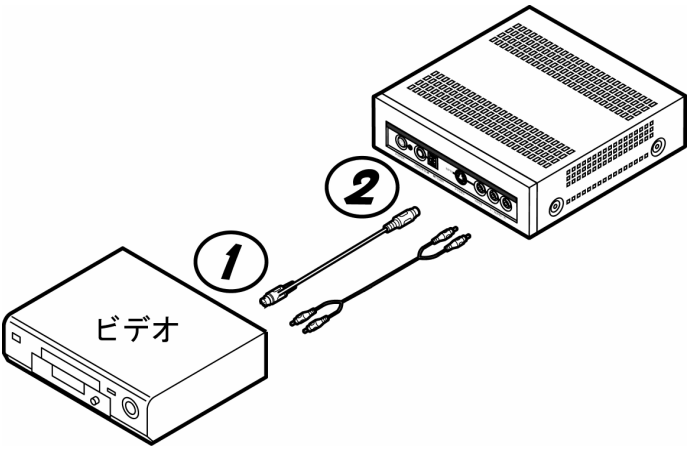
ここの作業は、本製品に映像を入力する方のみ必要です。
映像を入力しない場合は、映像機器との接続は必要ありません。

## 1 映像機器にケーブルを接続します。

・「音声出力」に「オーディオケーブル」を接続します。
・「Sビデオ出力」に「Sビデオケーブル」を接続します。

## 2 ケーブルのもう片方を本製品に接続します。

・「音声入力」に「オーディオケーブル」を接続します。
・「Sビデオ入力」に「Sビデオケーブル」を接続します。




参考

**Sビデオで接続できない場合**

本製品の「ビデオ入力」と映像機器の「ビデオ出力」を「コンポジットケーブル」で接続することもできます。

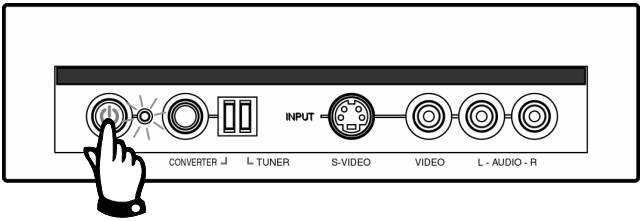
# 4 パソコンとの接続

## 1 Windowsが動作していれば終了し、パソコンの電源を切ります。

## 2 本製品の電源を入れます。

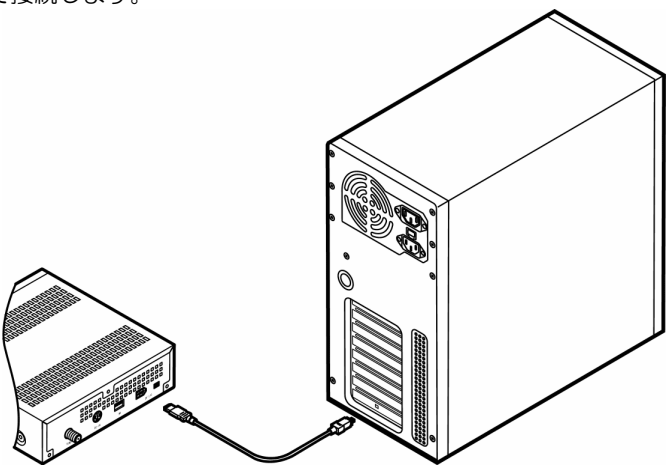
電源スイッチを押します。

⇒本製品の電源ランプが青色に点灯します。




## 3 パソコンと本製品を接続します。

パソコンのIEEE 1394ポートと本製品のDV端子を、添付のIEEE 1394ケーブルで接続します。



**本製品の取り付け作業は完了しました。**

# 認識させよう

本製品をWindows上で使えるようにする手順を案内します。

参考

**Windowsにログオンするときは**

コンピュータの管理者(Administrators)グループに属するユーザーでログオンしてください。

## 1 Windowsを起動します。

⇒本製品がWindowsに認識され、インストールの画面が表示されます。

## 2 Windowsによって、認識のされ方が異なります。

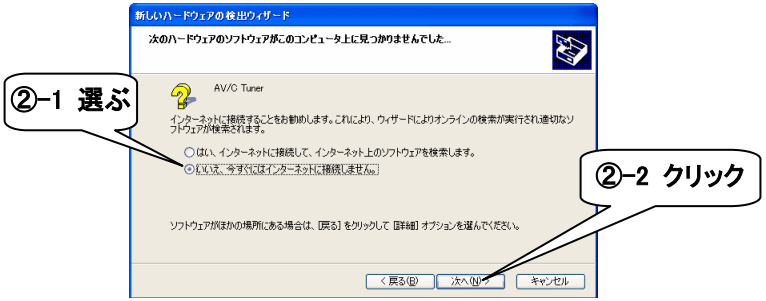
### ●Windows XP

「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されます。

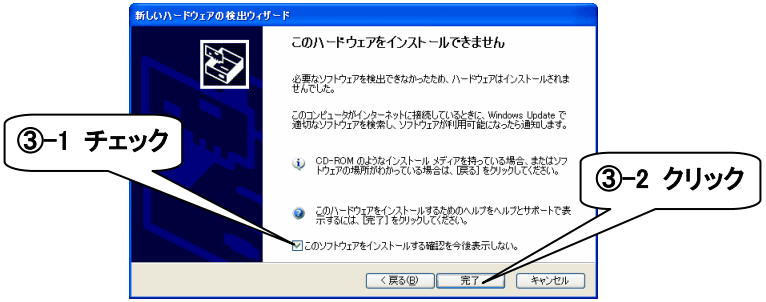
①［次へ］ボタンをクリックします。

②「インターネットに接続することをお勧めします。」と表示される場合があります。

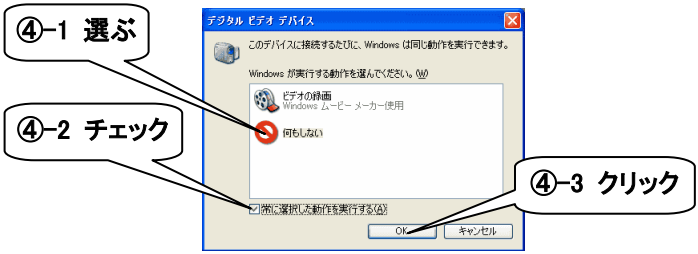
その場合、［いいえ、今すぐにはインターネットに接続しません。］を選び、［次へ］ボタンをクリックします。



③ この画面が今後表示されないように設定します。
インストールを今後しないように［このソフトウェアをインストールする確認を今後表示しない。］にチェックし、［完了］ボタンをクリックします。
※「このハードウェアをインストールできません」と表示されていますが、問題ありません。




④本製品を接続したときの動作を設定します。
［何もしない］を選択し、［常に選択した動作を実行する］にチェックを付けます。その後、［OK］ボタンをクリックします。
※この設定は、お使いの用途によって変更していただいても問題ありません。




⑤【確認しよう】(32ページ)にお進みください。

## ●Windows 2000

必要なドライバが自動的にインストールされます。
インストールが終わったら、【確認しよう】(32ページ)にお進みください。

# 確認しよう

本製品を正しく使える状態になっているかを確認します。

## 1 「システムのプロパティ」を開きます。

**●Windows XP**

①［スタート］→［マイコンピュータ］の順にクリックします。

②［システム情報を表示する］をクリックします。

**●Windows 2000**

［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

## 2 「デバイスマネージャ」を開きます。

①［ハードウェア］タブをクリックします。

②［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

## 3 Windowsによって、確認方法が異なります。

**●Windows XP**

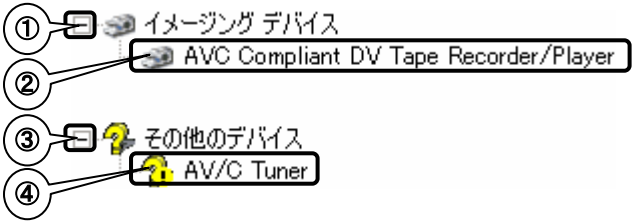
① ［イメージングデバイス］の左にある⊞をクリックします。
⇒その下が表示されます。

② 本製品のドライバを確認します。
［AVC Compliant DV Tape Recorder/Player］

③ ［その他のデバイス］の左にある⊞をクリックします。
⇒その下が表示されます。

④ 本製品のドライバを確認します。
［AV/C Tuner］
※［AV/C Tuner］に「！」マークが付いていますが、問題ありません

⑤ 【インストールしよう】(34ページ)にお進みください。

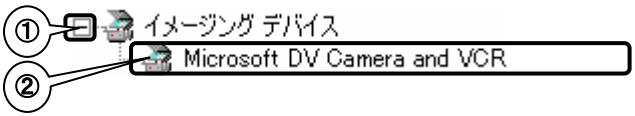


●Windows 2000

① ［イメージングデバイス］の左にある⊞をクリックします。
⇒その下が表示されます。

② 本製品のドライバを確認します。
［Microsoft DV Camera and VCR］

③ 【インストールしよう】(34ページ)にお進みください。




**本製品のドライバに[!]が付いている**
【本製品のドライバに［！］マークが付いている】(56ページ)をご覧ください。

## 4 「デバイスマネージャ」を閉じます。

画面右上にある ✕ をクリックします。

**確認作業は完了しました。**

# インストールしよう

ソフトウェアのインストールをします。

参考

**Windowsにログオンするときは**

コンピュータの管理者(Administrators)グループに属するユーザーでログオンしてください。

## 1 サポートソフトを挿入します。

サポートソフトをCD-ROMドライブに挿入します。

⇒メニューが表示されます。

参考

**メニューが表示されない**

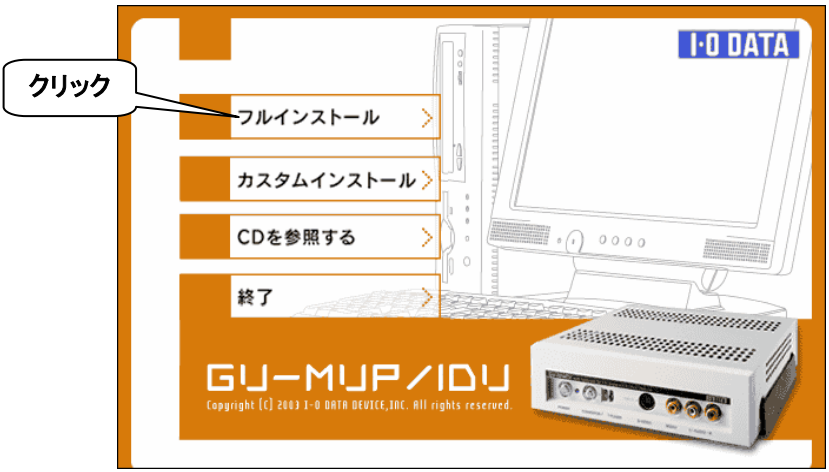
①「マイコンピュータ」を開きます。

②［GVMVPIDV_xxx］→［DVMENU］の順にダブルクリックします。

⇒メニューが表示されます。

## 2 ［フルインストール］をクリックします。

⇒インストール画面が表示されます。



参考

**カスタムインストール**

「I-O DATA mAgicTV」「Windows Media ランタイム」「DirectX 9 ランタイム」を個別にインストールできます。

**CDを参照**

CD-ROM内を表示します。

注意

**下のようなエラー画面が表示された**

画面に表示されているソフトウェアをアンインストールしてください。

## 3 画面の指示に従って、インストールします。

「I-O DATA mAgicTV」「Windows Media ランタイム」「DirectX 9 ランタイム」の順にインストール作業が行われます。

参考

**インストール後、再起動されます**

この後の手順をご覧になり、必要であればもう一度サポートソフトメニューを起動してください。

**他のソフトウェア**

詳しくは、【サービス品のソフトウェア】(68ページ)をご覧ください。

**メニューを閉じる**

［終了］をクリックしてください。

## 4 サポートソフトを取り出します。

**ソフトウェアはインストールされました。**

# 録画予約実行の準備

録画予約を実行できる状態にします。
この設定が行われていないと、録画予約の実行に失敗するおそれがあります。

### 1 「画面のプロパティ」を開きます。

Windowsのデスクトップを右クリックし、表示されたメニューの［プロパティ］をクリックしてください。

### 2 ［スクリーンセーバー］タブをクリックします。

### 3 「パスワードによる保護」を確認します。

「パスワードによる保護」にチェックがついていた場合は、チェックを外してください。

参考

**「パスワードによる保護」の代わりに「再開時にようこそ画面に戻る」がある**
そちらのチェックを外してください。

### 4 ［電源］ボタンをクリックします。

⇒「電源オプションのプロパティ」画面が表示されます。

### 5 ［詳細設定（詳細）］タブをクリックします。

### 6 パスワードの設定を確認します。

［スタンバイ（状態）から回復するときにパスワードの入力を求める］があるかを確認します。ある場合は、それのチェックを外してください。

### 7 ［OK］ボタンをクリックします。

⇒「電源オプションのプロパティ」画面が閉じます。

### 8 ［OK］ボタンをクリックします。

⇒［画面のプロパティ］が閉じます。
これで設定は完了です。

# mAgicTVの初期設定をしよう

mAgicTVの初期設定をします。

参考

**作業をする前にアンテナを確認してください**
正しい設定のために必要です。

## 1 mAgicTV初期設定を起動します。

デスクトップ上の［mAgicTV初期設定］アイコンをダブルクリックします。

## 2 チャンネルを設定します。

① 「地域選択」で、現在の都道府県および地域を設定します。
② 「チャンネル設定」内のチャンネルが問題ないことを確認します。
③ ［次へ］ボタンをクリックします。

参考

**オートスキャン**

［開始］ボタンをクリックすることで、自動的にチャンネルを検索します。検索されたチャンネルを「チャンネル設定」にドラッグ＆ドロップすることで、そのチャンネルを追加できます。

**チャンネル設定の変更**

- **［追加］ボタン**　クリックすると、新しいチャンネルを追加できます。
- **［変更］ボタン**　クリックすると、選択されたチャンネルを変更できます。
- **［削除］ボタン**　クリックすると、選択されたチャンネルが削除されます。
- **［デフォルトに戻す］ボタン**
  クリックすると、選択された地域の初期状態に戻ります。

## 3 デバイスの設定と確認をします。

① 「使用するサウンドデバイス」を選択します。

② ［サンプル音声再生］ボタンをクリックし、音声が聞こえることを確認します。

③ ［映像］ボタンの右にあるチャンネルを選択します。

④ ［映像］ボタンをクリックし、映像が映ることを確認します。

⑤ ［完了］ボタンをクリックします。

⇒初期設定は完了です。

デスクトップに各種アプリケーションのアイコンが作られます。

参考

**音声が聞こえない**

【mAgicTVの初期設定でサンプル音声再生が聞こえない】(57ページ)をご覧ください。

**映像が映らない**

【mAgicTVの初期設定で映像が映らない】(58ページ)をご覧ください。

**mAgicTVの初期設定は完了しました。**
**【I-O DATA mAgicTVを使う】(次ページ)をご覧になり、各種機能をお楽しみください。**

# I-O DATA mAgicTVを使う

I-O DATA mAgicTVを使う方法について説明します。


| | |
|---|---|
| テレビ／ビデオを見る | 39ページ |
| 録画する | 41ページ |
| 再生する | 42ページ |
| I-O DATA mAgicTVとは | 43ページ |
| それぞれの起動方法 | 44ページ |


**パソコンに接続中はモード切替スイッチを押さない**

パソコンに接続し、mAgicTVやChannel Commanderで本製品を使う場合、モード切替スイッチを押すと、正しく動作しなくなるおそれがあります。

## テレビ／ビデオを見る

### 1 mAgicTVを起動します。

デスクトップ上の［mAgicTV］アイコンをダブルクリックします。

**アイコンがない場合**

はじめてmAgicTVを起動するときは、その前に初期設定が必要です。
【mAgicTVの初期設定をしよう】(37ページ)をご覧ください。

### 2 「ライブモード」に設定します。

ライブモードボタンをクリックします。

## 3 映像機器からの映像を見る場合は、映像機器の電源を入れます。

ビデオデッキなどの場合は、再生を行ってください。
本製品に映像が入力されている必要があります。

## 4 チャンネルを変えます。

**テレビを見る場合**

番組表ウィンドウのチャンネルボタンをクリックします。

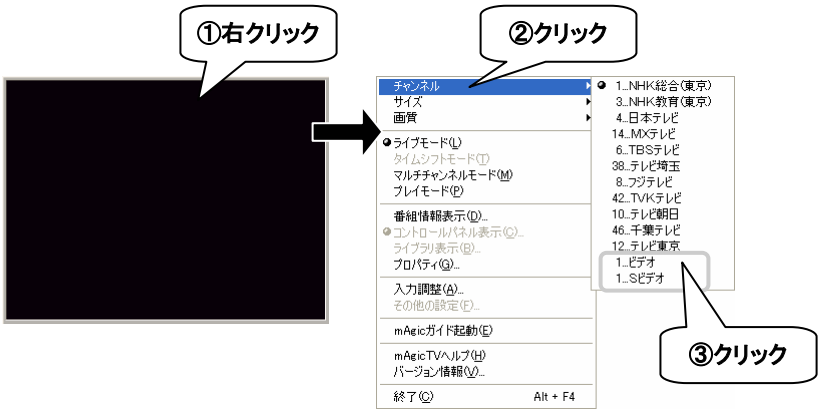
**ビデオ(映像機器からの映像)を見る場合**

右クリックメニューのチャンネルを選びます。

① プレビュー画面を右クリックします。
⇒右クリックメニューが表示されます。

② ［チャンネル］をクリックします。

③ 映像機器を接続したビデオ入力を選びます。




注意

**映像機器からの映像を表示する場合**

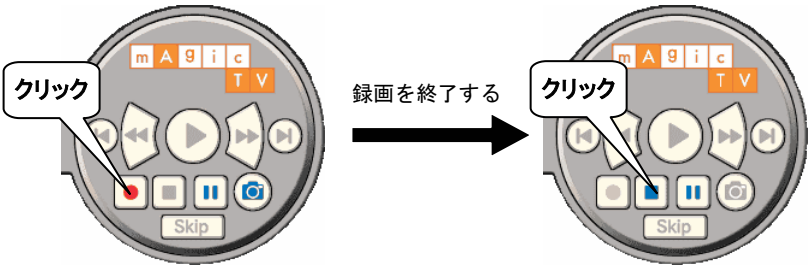
- 一部の映像機器（ゲーム機など）の映像は正しく表示されないことがあります。
- ビデオ映像を表示したとき、画面下部に数ミリのちらつきが表示されることがありますが、異常ではありません。

# 録画する

## 1 録画する映像を表示します。

方法については、【テレビ／ビデオを見る】(39ページ)をご覧ください。

## 2 録画します。




参考

**最大録画時間**

連続で約6時間まで録画可能です。
それ以上の録画を行いたい場合は、一度録画を停止し、再度録画を行ってください。

**録画した映像を見る**

【再生する】(42ページ)をご覧ください。

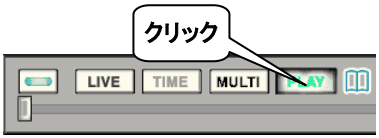
**録画予約について**

mAgicTVでは録画予約をすることもできます。
詳しくは、mAgicTVのヘルプをご覧ください。

# 再生する

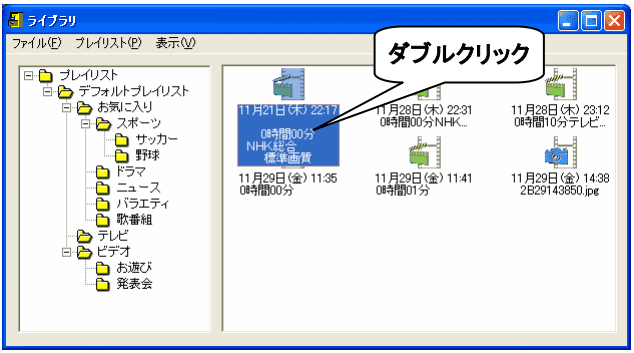
## 1 mAgicTVを起動します。

## 2 「プレイモード」に設定します。




## 3 再生したい映像を選びます。

表示されたライブラリ画面内の再生したい映像をダブルクリックします。
⇒映像が再生されます。



# I-O DATA mAgicTV とは

I-O DATA mAgicTVは、「mAgicTV」「mAgicガイド」「mAgicマネージャ」を総合したアプリケーションの名前です。

**mAgicTV**

テレビを見ることができるアプリケーションです。
また、録画したり、録画した映像を再生することもできます。

**mAgicガイド**

番組表を見られるアプリケーションです。
番組表から録画予約したり、好きな番組を検索することもできます。

**mAgicマネージャ**

録画予約の管理を行うアプリケーションです。
mAgicマネージャがタスクバーに常駐していないと、録画予約の実行、番組表データの自動受信、リモコン操作などを行うことができません。

参考

**それぞれの機能の詳細についてはヘルプをご覧ください**

ヘルプには、各機能の使い方や活用例などが説明されています。
ご覧になり、本製品を快適にお使いください。

# それぞれの起動方法

## ● mAgicTV

デスクトップ上の［mAgicTV］アイコンをダブルクリックします。

## ● mAgicガイド

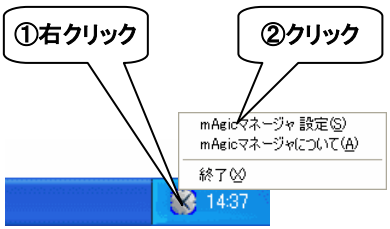
**mAgicTVが起動している場合**

**mAgicTVが起動していない場合**

デスクトップ上の［mAgicガイド］アイコンをダブルクリックします。

## ● mAgicマネージャ

右下のタスクトレイ内にあるアイコンを右クリックし、［mAgicマネージャ設定］をクリックします。



# I-O DATA Channel Commanderを使う

I-O DATA Channel Commanderを使う方法について説明します。


| | |
|---|---|
| I-O DATA Channel Commanderとは | 45ページ |
| 起動方法 | 45ページ |
| 他のソフトウェアで録画する | 46ページ |


**パソコンに接続中はモード切替スイッチを押さない**

パソコンに接続し、mAgicTVやChannel Commanderで本製品を使う場合、
モード切替スイッチを押すと、正しく動作しなくなるおそれがあります。

## I-O DATA Channel Commanderとは

本製品のチューナー・デバイス設定を行うアプリケーションです。
「mAgicTV」以外のキャプチャソフトで本製品を使って録画する時に使用します。

**機能の詳細についてはヘルプをご覧ください**

ヘルプには、各機能の使い方が説明されています。
ご覧になり、本製品を快適にお使いください。

## 起動方法

デスクトップ上の［Channel Commander］アイコンをダブルクリックします。

# 他のソフトウェアで録画する

添付の「Ulead VideoStudio 7 SE」や「Ulead DVD MovieWriter Advance SE for mAgicTV」などのDV録画に対応したソフトウェアでも、本製品の映像を録画することができます。

### 1 録画するソフトウェアを、DV録画を行える状態にします。

DV録画の方法については、各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

### 2 「Channel Commander」を起動します。

### 3 テレビ番組を録画する場合は、チャンネルを変更します。

テレビ番組を録画する場合、録画する番組にチャンネルを変更します。

［1］～［12］：それぞれのプリセットチャンネルに変更します。

［▲］［▼］：現在のチャンネルの前後の、設定されているプリセットチャンネルに変更します。

［映像切替］：Sビデオ→ビデオ→チューナー→Sビデオ・・・の順に切り替えます。

参考

**テレビ画面が表示されない場合**

録画するソフトウェアに映像が表示されていない場合、［映像切替］ボタンをクリックします。

数回クリックすれば、映像が表示されます。

### 4 音声多重のテレビ番組を録画する場合は、音声を設定します。

多重音声番組の場合、［音声切替］ボタンで音声を切り換えることができます。

### 5 [設定]ボタンを押し、画質調整を行います。

詳しい設定については、［スタート］→［（すべての）プログラム］→［I-O DATA mAgicTV］→［Channel Commander for mAgicTV ヘルプ］をご覧ください。

### 6 録画します。

録画方法については、各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

# ***Memo***

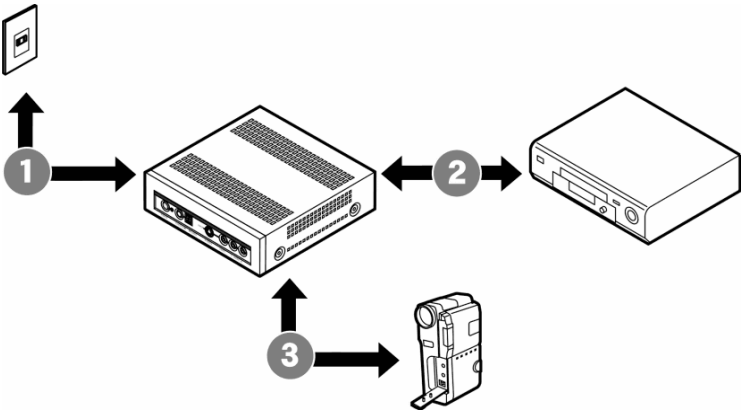
# DV機器で使う

接続しよう…… 50

DVテープに録画する…… 54

# 接続しよう

本製品を接続する手順を説明します。




参考

**作業する前に**

本製品には「ビデオ（Sビデオ）ケーブル」や「オーディオケーブル」は添付されておりません。
あらかじめ、別途ご用意ください。

**映像機器との接続について**

「Sビデオケーブル」と「コンポジットケーブル」では、「Sビデオケーブル」を使って接続した方がはっきりと表示されます。

**一部のビデオ機器・ゲーム機の映像は正しく表示されない場合があります**

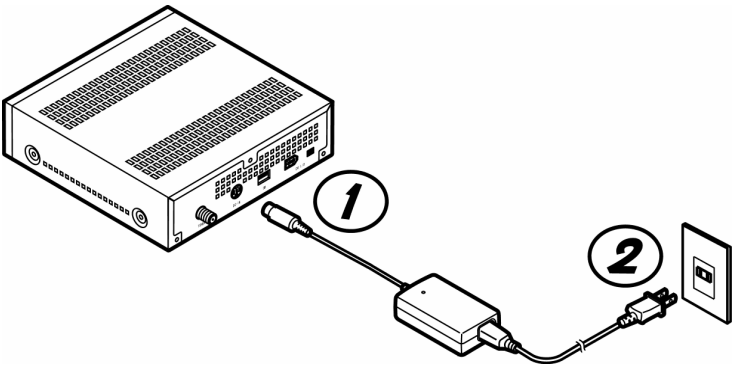
あらかじめご了承ください。

# 1 電源コンセントとの接続

## 1 添付のACアダプタを接続します。

本製品の「DCジャック」に、添付のACアダプタを接続します。

## 2 電源コンセントと接続します。



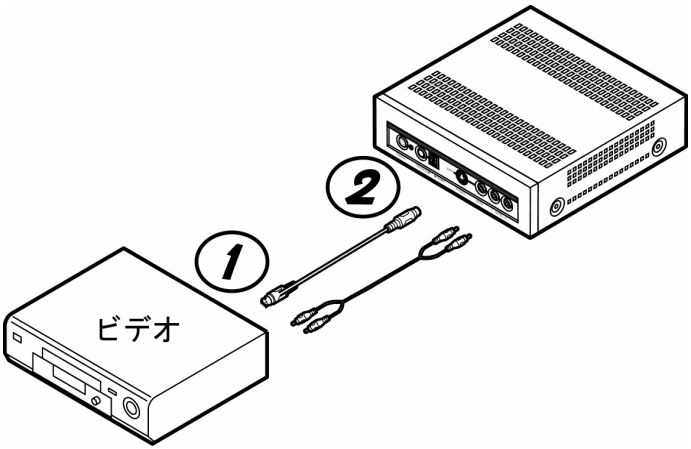
## 2 映像機器との接続

### 1 映像機器にケーブルを接続します。

・「音声出力」に「オーディオケーブル」を接続します。
・「Sビデオ出力」に「Sビデオケーブル」を接続します。

### 2 ケーブルのもう片方を本製品に接続します。

・「音声入力」に「オーディオケーブル」を接続します。
・「Sビデオ入力」に「Sビデオケーブル」を接続します。




参考

**Sビデオで接続できない場合**

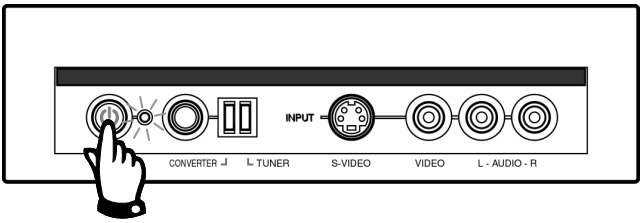
本製品の「ビデオ入力」と映像機器の「ビデオ出力」を「コンポジットケーブル」で接続することもできます。

# 3 DV 機器との接続

## 1 本製品の電源を入れます。

電源スイッチを押します。

⇒本製品の電源ランプが青色に点灯します。

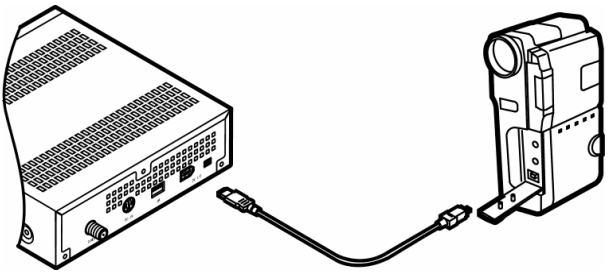



## 2 DV機器の電源を入れます。

## 3 DV機器と本製品を接続します。

DV機器のi.LINKポートと本製品のDV端子を、添付のIEEE 1394ケーブルで接続します。

⇒本製品がDV機器に認識されます。



**本製品の取り付け作業は完了しました。**

# DVテープに録画する

DV機器に接続し、映像機器からの映像を録画する方法を説明します。

## 1 DV機器側の設定で、本製品の映像を入力するようにします。

方法については、各DV機器の取扱説明書をご覧ください。

## 2 DV機器に映像を入力します。

① モードスイッチを押し、本製品のモードを「コンバートモード」に切り替えます。

② 映像機器の電源を入れます。
また、ビデオデッキなどは再生します。
⇒DV機器に映像が入力されます。

**テレビの映像を入力する**

本製品をパソコンにも接続することで、本製品のテレビチューナーからの映像をDV機器に入力することができます。

① 【パソコンで使う】(23ページ)をご覧になり、本製品をパソコンで使えるように設定します。

② 【他のソフトウェアで録画する】(46ページ)を参考に、映像をDV機器に表示できるようにします。
⇒本製品からの映像が、DV機器で表示されます。

## 3 DV機器を録画状態にします。

方法については、各DV機器の取扱説明書をご覧ください。

# 困った時には


**使えるようにする時の問題……56**

| 現象 | ページ |
|---|---|
| 本製品のドライバに［!］マークが付いている | ５６ |
| 本製品のドライバが表示されない | |
| ・オートスキャン機能でCATVのチャンネルが見つからない<br>・CATVのチャンネルを設定しても、番組を受信できない | ５７ |
| mAgicTVの初期設定でサンプル音声再生が聞こえない | |
| mAgicTVの初期設定で映像が映らない | ５８ |
| mAgicTVを起動できない | |
| mAgicTV起動時に「オーバーレイミキサーの接続に失敗しました」と表示される | ５９ |

**他社ソフトウェアで使用時の問題……60**

| 現象 | ページ |
|---|---|
| 本製品の映像が表示されない | ６０ |
| プレビュー表示が、コマ送りのようになる | ６１ |
| 映像の音声や録画した映像の音声が聞こえない | |
| 録画した物を再生すると、音声と映像がずれる | ６２ |
| 表示されている映像や録画された映像が正しい状態でない | |

# 使えるようにする時の問題

## 本製品のドライバに[！]マークが付いている

### 原因1 Windows XPを使っている

Windows XPで表示される［AV/C Tuner］は、2003年11月現在Microsoft社よりドライバが供給されていません。
そのため、［！］マークが付いていますが、問題なくお使いいただけます。

### 原因2 本製品が正しく認識されていない

［！］マークが付いているドライバを［削除］ボタンで削除します。
その後、本製品をパソコンから抜き差ししてください。

## 本製品のドライバが表示されない

### 原因 接続に問題がある

・【接続しよう】(24ページ)をご覧になり、本製品の接続をご確認ください。
・接続するIEEE 1394ポートを変えてみてください。
・IEEE 1394ポートに本製品がしっかりと接続されていることを確認してください。

## ・オートスキャン機能でCATVのチャンネルが見つからない
## ・CATVのチャンネルを設定しても、番組を受信できない

**原因** **専用チューナーが必要なCATV放送である**

その場合は、【●ケーブルテレビの専用チューナーと接続する】(27ページ)をご覧になり、正しく接続してください。

また、番組表示には外部入力をお使いください。
チャンネル変更は、専用チューナー側で行ってください。

## mAgicTVの初期設定でサンプル音声再生が聞こえない

**原因1** **スピーカーがつながっていない**

パソコンとスピーカーがつながっているかを確認してください。

**原因2** **音声が小さい／ミュートになっている**

初期設定の画面(38ページ)内にある［ボリューム］を上げ、［ミュート］にチェックが付いている場合は、外してください。

**原因3** **Windows自体のボリュームが小さい**

他のアプリケーションなどで音声を確認してください。
音が聞こえない場合は、Windowsのボリューム（「メイン」「WAVE」）を大きくしてください。

**原因4** **普段使っているものと違うサウンドデバイスを使おうとしている**

初期設定の画面(38ページ)内にある［使用するサウンドデバイス］を変更してください。

**原因5** **サウンドデバイスが正しく設定されていない**

## mAgicTVの初期設定で映像が映らない

### 原因1 アンテナケーブルが正しく接続されていない

【アンテナとの接続】(26ページ)をご覧になり、アンテナケーブルの接続を確認してください。

### 原因2 チャンネルが正しく設定されていない

初期設定の画面(38ページ)内にある［戻る］ボタンをクリックし、チャンネルの設定(37ページ)を行ってください。
プリセットの設定と異なる場合もあります。
その場合は、オートスキャン機能をお使いください。

### 原因3 外部入力の場合、映像機器が再生状態ではない

映像機器の電源を入れてください。
ビデオなどの場合は、再生状態にしてください。

### 原因4 外部入力の設定が正しくない

映像機器が接続されている端子と異なる外部入力を選んでいます。別の外部入力に変更してみてください。

## mAgicTVを起動できない

### 原因 ハードディスクの空き容量が足りない

OSがインストールされているハードディスクの空き容量を確認し、空き容量が足りない場合はいらないファイルなどを消して、500Mバイト以上の容量を空けてください。

## mAgicTV起動時に「オーバーレイミキサーの接続に失敗しました」と表示される

**原因** **パソコンのグラフィック環境に問題がある**

対処としては、下の内容が考えられます。

**Windowsの解像度・色数を減らしてみる**

①「画面のプロパティ」を開きます。

②［設定］タブで設定します。

※ 解像度・色数を、必要動作環境より下に設定しないでください。

**ハードウェアアクセラレータを最大にする**

①「画面のプロパティ」を開きます。

②［設定］→［詳細］→［トラブルシューティング］で設定します。

**グラフィックのドライバを最新のものにする**

ドライバの入手方法、更新方法などについては、パソコンメーカーもしくはグラフィックカードのメーカーにお問い合わせください。

参考

**「画面のプロパティ」の開き方**

Windowsのデスクトップを右クリックし、表示されたメニューの［プロパティ］をクリックします。

# 他社ソフトウェアで使用時の問題

## 本製品の映像が表示されない

### 原因1 入力切替が正しくない

映像機器が接続されていない外部入力の設定になっているなどの可能性があります。
「Channel Commander」の［映像切替］ボタンを押し、映像が表示されるまで映像入力を切り換えてください。
また、他社ソフトウェア側で正しく本製品から映像を入力する設定にしてください。

### 原因2 映像信号が入力されていない

【接続しよう】(24ページ)をご覧になり、本製品の接続を確認してください。
映像機器から映像を入力している場合は、映像機器が再生状態になっていることも確認してください。

### 原因3 パソコンの表示解像度やリフレッシュレートの値が大きい

パソコンやグラフィックボードの取扱説明書をご覧になり、パソコンの表示解像度やリフレッシュレートを低く設定してみてください。
※ 解像度・色数を、必要動作環境より下に設定しないでください。

### 原因4 本製品が認識されていない

【接続しよう】(24ページ)をご覧になり、本製品の接続を確認してください。
また、【確認しよう】(32ページ)をご覧になり、本製品が使える状態になっていることを確認してください。

## プレビュー表示が、コマ送りのようになる

### 原因1 パソコンに負荷がかかっている

他に行っている作業や常駐ソフトウェアを終了してください。
終了後しばらくしてから、もう一度お試しください。

### 原因2 プレビューのフレームレートが低くなっている

お使いのソフトウェアのプレビュー用フレームレートを、高めに設定してください。

※ ソフトウェアによっては、フレームレートを変更できない場合があります。

## 映像の音声や録画した映像の音声が聞こえない

### 原因1 ・映像機器との接続が正しくない<br>・接続した映像機器から音声が出力されていない

本製品と映像機器が正しく接続されていることを確認してください。
映像機器から映像を入力している場合は、映像機器から音声が入力されていることも確認してください。

### 原因2 Windowsやソフトウェアの音声がミュートになっていたり、小さくなっている

［スタート］→［（すべての）プログラム］→［アクセサリ］→［エンターテイメント（マルチメディア）］→［ボリュームコントロール］の順にクリックしてください。
[Wave/DirectSound/MP3]のミュートにチェックが付いていないか確認してください。チェックが付いていたら外してください。
また、音声を大きくしてみてください。

### 原因3 ソフトウェアが、プレビュー中に音声を再生しない

プレビュー中に音声を再生しないソフトウェアがあります。

### 原因4 パソコンにサウンドデバイスがない

パソコンにサウンドデバイスを増設してください。

## 録画した物を再生すると、音声と映像がずれる

### 原因1 パソコンに負荷がかかっている

他に行っている作業や常駐ソフトウェアを終了してください。
終了後しばらくしてから、もう一度お試しください。

## 表示されている映像や録画された映像が正しい状態でない

### 原因1 ソフトウェアの設定値が異常である

① 「Channel Commander」の［設定］ボタンをクリックします。
⇒「GV-MVP/IDVハードウェア設定」画面が表示されます。
② ［全チャンネルで同じ設定を使用する］にチェックします。
③ ［デフォルト］ボタンをクリックします。
④ ［はい］ボタンをクリックします。
⑤ ［OK］ボタンをクリックします。

### 原因2 本製品の設定値が異常である

【本製品の設定を初期化する】(66ページ)をご覧になり、本製品の設定値を初期化してください。

# 付録

本体での設定……64
サポートソフトの削除……67
サービス品のソフトウェア……68
IEEE 1394について……72
用語解説……75
仕様……79

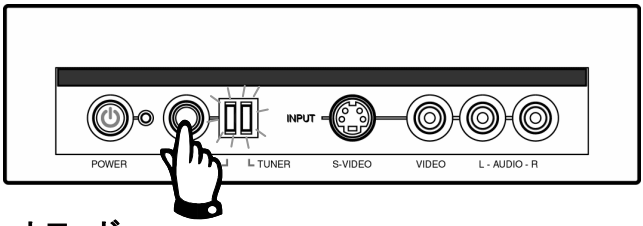
# 本体での設定

本体側のスイッチでできる設定について説明します。


| | |
|---|---|
| **モードを切り替える** | 本ページ |
| **映像を出力しないようにする** | 次ページ |
| **音声の周波数を設定する** | |
| **Locked Audioを設定する** | 66ページ |
| **本製品の設定を初期化する** | |


## モードを切り替える

本製品の「モード切替スイッチ」を押すことで、「コンバートモード」と「チューナーモード」を切り替えることができます。




**●コンバートモード**

映像機器からの映像を出力するモードです。
モードランプの「CONVERTER」が点灯します。

**●チューナーモード**

本製品のチューナーからの映像を出力するモードです。
モードランプの「TUNER」が点灯します。

参考

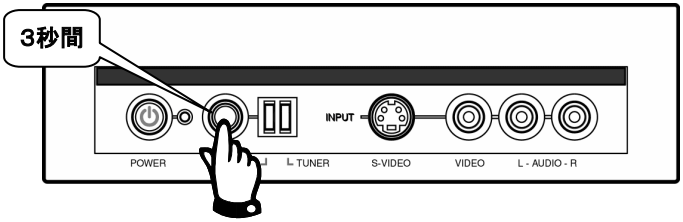
**パソコンに接続せずに使う場合、コンバートモードに切り換えてください**
本製品に接続した映像機器からの映像をDV機器を使って録画することができます。

注意

**パソコンに接続中はモード切替スイッチを押さない**
パソコンに接続し、mAgicTVやChannel Commanderで本製品を使う場合、モード切替スイッチを押すと、正しく動作しなくなるおそれがあります。

## 映像を出力しないようにする

本製品の「モード切替スイッチ」を約3秒以上押すことで、本製品から映像が出力されなくなります。モードランプが２つとも消灯します。
もう一度「モード切替スイッチ」を押すと、この設定は解除されます。




参考

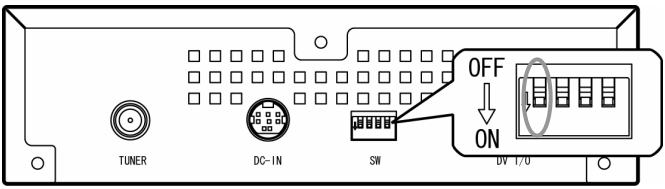
**パソコンに接続している他のDV機器が使えなくなったら設定してください**
本製品から映像出力しないことで、改善されることがあります。
この状態では、本製品をお使いいただくことはできません。

## 音声の周波数を設定する

本製品背面にある「初期設定スイッチ」の一番左のスイッチで設定します。

本製品の電源を切り、
設定してください。

| | |
|---|---|
| **ON** | 32KHz モード |
| **OFF** | 48KHz モード（出荷時設定） |




参考

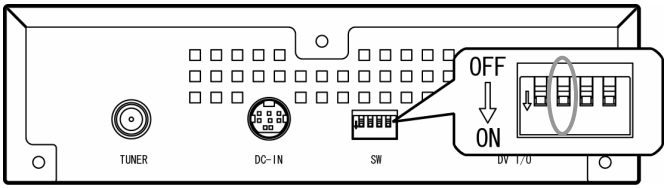
**32KHz モードについて**
通常は出荷時設定のままで問題ありません。
特に変更の必要がない場合は、そのままお使いください。

## Locked Audio を設定する

本製品背面の「初期設定スイッチ」の左から二番目のスイッチを使って設定します。

本製品の電源を切り、
設定してください。

| | |
|---|---|
| ON | Unlocked Audioモード |
| OFF | Locked Audioモード（出荷時設定） |



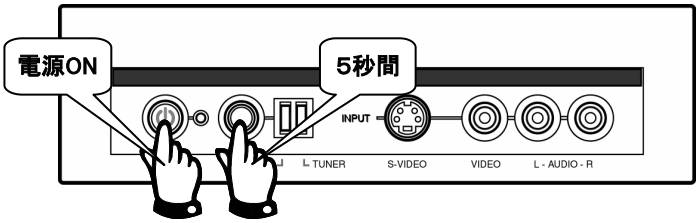

参考

**Unlocked Audioモードについて**

Locked Audioモードは、映像と音声の同期を取り、ズレを軽減します。
ですが、非標準信号(ビデオのメニュー画面やゲーム機の映像など)の映像は同期が取れないため、逆にズレやノイズが発生することがあります。
そのようなときは、Unlocked Audioモードに設定してください。

## 本製品の設定を初期化する

本製品の電源を切り、「モード切替スイッチ」を押したままで電源を入れます。
「モード切替スイッチ」を押したまま約５秒待つと、本製品の設定は初期化されます。



# サポートソフトの削除

サポートソフトの削除（アンインストール）方法について説明します。

参考

**サービス品のソフトウェアの削除**

各ソフトウェアのオンラインマニュアル(70ページ)などをご覧ください。

**Windowsにログオンするときは**

コンピュータの管理者(Administrators)グループに属するユーザーでログオンしてください。

## 1 mAgicマネージャを終了します。

右下のタスクバー内にあるアイコンを右クリックし、［終了］をクリックします。

## 2 コントロールパネルを開きます。

［スタート］(→［設定］)→［コントロールパネル］の順にクリックします。

## 3 [プログラム(アプリケーション)の追加と削除]を起動します。

「プログラム（アプリケーション）の追加と削除」アイコンをダブルクリックします。

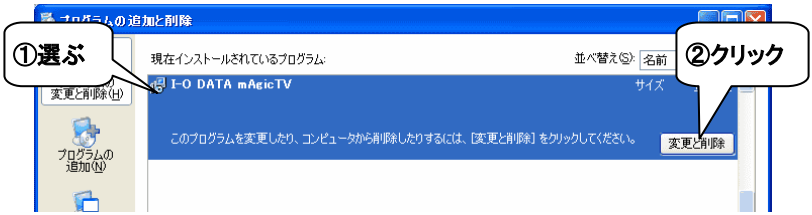
## 4 [I-O DATA mAgicTV]を選び、削除します。

①［I-O DATA mAgicTV］を選びます。

②［変更と削除］または［追加と削除］ボタンをクリックします。

⇒mAgicTVの削除が開始されます。

画面の指示に従って削除してください。



# サービス品のソフトウェア

添付されているサービス品のソフトウェアについて説明します。

## 入っているソフトウェア

### ●Ulead VideoStudio 7 SE

本製品で録画した映像を編集したり、本製品の映像を直接録画することができる、デジタルビデオ編集ソフトです。

ビデオフィルタ、トラジション（場面転換）効果、オーバーレイクリップ、アニメーションタイトル機能などの多彩な機能を搭載しています。

### ●Ulead DVD MovieWriter Advance SE for mAgicTV

本製品で録画した映像を使ってDVDを作成できるオーサリングソフトです。

### ●Ulead PhotoImpact 8 SE

本製品で保存した静止画を編集することができる、静止画編集ソフトです。

簡単さ、使いやすさは、以前のバージョンそのままに、多彩な新機能を搭載し、従来からの機能がさらに強化されています。
HTML出力も充実し、イメージ編集からWebページ制作まで総合力を発揮します。

### ●Ulead Cool 3D 3 SE

複雑な作業を行うことなく、ダイナミックな3Dタイトルやアニメーションを作ることができる、タイトル作成ソフトです。

### ●Adobe Photoshop Album Mini

デジタル写真をかんたんに整理・加工・活用するためのソフトウェアです。

### ●reserMail

外出先のパソコンや携帯電話（iモード、J-SKY、EZweb）から、自宅のパソコンに録画予約できます。

### ● XVD Encoder plus 機能制限版

MPEG, AVIなどの動画をXVD形式にエンコードするソフトウェアの機能制限版です。
複数のファイルを登録することで連続してエンコードタスクを実行できるほか、エンコードの詳細なパラメータを設定したり、プラグインを利用することができます。

参考

**製品版との違いについて**

下記の方法で、機能の制限について記載したpdfを見ることができます。

① XVD Encoder plus 機能制限版をインストールします。

② [スタート] → [(すべての) プログラム] → [B.H.A] → [XVD Encoder plus 機能制限版] → [XVD Encoder plus 機能制限版アップグレードについて] の順にクリックします。

## インストール方法

### ●Uleadのソフトウェア

UleadのCD-ROMを挿入し、インストールメニューを表示します。
あとは、インストールするソフトウェアを選んで画面の指示に従ってください。

### ●Adobe Photoshop Album Mini

① GV-MVP/IDVサポートソフトのCD-ROMを挿入し、インストールメニューを表示します。

② [CDを参照] をクリックします。
⇒CD-ROMの内容が表示されます。

③ [PSAlbumMini] → [Adobe Photoshop Album] → [Setup] の順にダブルクリックします。
⇒インストール画面が表示されます。後は、画面の指示に従ってください。

### ●reserMail

① GV-MVP/IDVサポートソフトのCD-ROMを挿入し、インストールメニューを表示します。

② [CDを参照] をクリックします。
⇒CD-ROMの内容が表示されます。

③ [reserMail] → [Setup] の順にダブルクリックします。
⇒インストール画面が表示されます。後は、画面の指示に従ってください。

### ● XVD Encoder plus 機能制限版

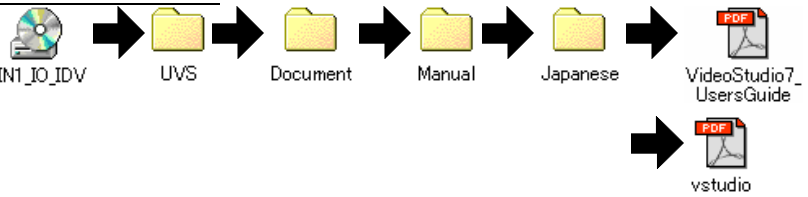
① GV-MVP/IDVサポートソフトのCD-ROMを挿入し、インストールメニューを表示します。
② [CDを参照] をクリックします。
⇒CD-ROMの内容が表示されます。
③ [XVDEncoderPlus] → [Setup] の順にダブルクリックします。
⇒インストール画面が表示されます。後は、画面の指示に従ってください。

## 使用方法

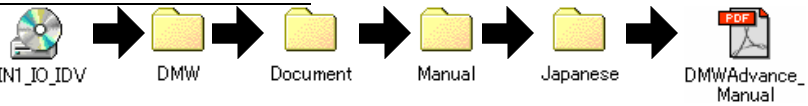
各ソフトウェアの使用方法については、ヘルプもしくはオンラインマニュアルをご覧ください。

### ●オンラインマニュアルの参照方法

Ulead VideoStudio 7 SE




Ulead DVD MovieWriter Advance




Ulead PhotoImpact 8 SE

Ulead Cool 3D 3 SE

**Adobe Photoshop Album Mini**

① GV-MVP/IDVサポートソフトのCD-ROMを挿入し、インストールメニューを表示します。
② [CDを参照] をクリックします。
⇒CD-ROMの内容が表示されます。
③ 下の順にダブルクリックします。

**reserMail**

① GV-MVP/IDVサポートソフトのCD-ROMを挿入し、インストールメニューを表示します。
② [CDを参照] をクリックします。
⇒CD-ROMの内容が表示されます。
③ 下の順にダブルクリックします。

**XVD Encoder plus 機能制限版**

① GV-MVP/IDVサポートソフトのCD-ROMを挿入し、インストールメニューを表示します。
② [CDを参照] をクリックします。
⇒CD-ROMの内容が表示されます。
③ 下の順にダブルクリックします。

参考

**オンラインマニュアルを見るにはAcrobat Readerが必要です**

インストールされていない場合は、インストールしてください。

**Acrobat Readerのインストール方法**

①UleadのCD-ROMを挿入し、インストールメニューを表示します。
② [Acrobat Reader] をクリックしてください。
あとは、画面の指示に従ってください。

参考

**詳しい方法について**

reserMailの [Setup] と同じフォルダに、「reserMail」というpdfファイルがあります。そちらをご覧ください。

# IEEE 1394について

## IEEE 1394 とは？

**●IEEE 1394(アイトリプルイー イチサンキューヨン)**

パソコン周辺機器の高速データ転送用の技術としてApple Computer, Inc.で開発が始まり、IEEE(米国電気電子技術者協会)により正式規格として制定された規格。
その規格番号から一般的にIEEE 1394と呼ばれる。FireWireやi.LINKなどもその一種。
ソニー株式会社がデジタルビデオカメラのインターフェイスとして採用したことで家電業界を中心に普及が進んでいる。

**●i.LINK(アイリンク)**

IEEE 1394を本格的に普及させるために、ソニー株式会社が提唱する呼称。

**●FireWire(ファイヤーワイヤー)**

IEEE 1394のベースになった規格。
Apple Computer,Inc.とTexas Instruments社で提唱された。

## IEEE 1394 機器の接続方法

参考

**記号の説明**

IEEE 1394ポート搭載パソコン

本製品

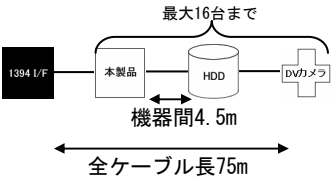
ハードディスク

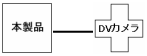
DVC（デジタルビデオカメラ）

## ●正しい接続方法

**デイジーチェーン**

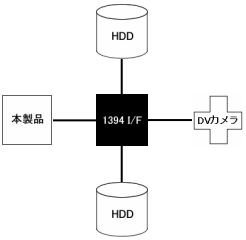
機器同士を、じゅず状につなげる方法。



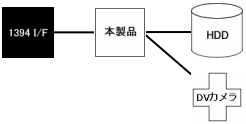

**スター**

IEEE 1394インターフェイスを中心にスター(星)状につなげる方法。




**ツリー**

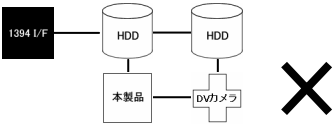
各機器から枝別れさせてつなげる方法。




## ●誤った接続方法

**ループ**

IEEE 1394インターフェイスおよび機器間をループ状につなげる方法。




**共有**

複数のパソコンで機器を共有するようにつなげる方法。

## IEEE 1394 機器の接続可能台数

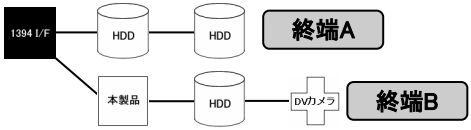
IEEE 1394ポートには最大63台のIEEE 1394機器を接続できます。

ただし、Windows側の制限などによって全ての機器を使えません。

## IEEE 1394 ケーブルの最大本数

IEEE 1394インターフェイスと終端のIEEE 1394機器の間に最大16本のケーブルを使うことができます。

下の図では、終端Aまでは2本、終端Bまでは3本のケーブルを使っています。




## 複数の IEEE 1394 機器の取り外し

複数のIEEE 1394機器を連続して接続している場合は、終端より順に取り外してください。

# 用語解説

**2D NR[ツーディー エヌアール]**
**(two Dimension Noise Reduction)**
ノイズ除去・低減処理の一種。
映像信号の微小な変動をノイズとみなして処理を行う。
残像など、時間軸方向のノイズは現れないが、映像の細かい部分が潰れてしまうことが多い。

**2D Y/C 分離[ツーディー ワイシー ぶんり]**
**(two Dimension Y/C)**
Y/C 分離方式の一種。
映像の隣り合う水平ライン間の相関を利用して、輝度信号(Y)と色信号(C)の分離を行う。

**3D NR[スリーディー エヌアール](three Dimension Noise Reduction)**
ノイズ除去・低減処理の一種。
ノイズは時間軸方向に対する相関が低いため、それを利用してノイズを低減させる。
映像のシャープさを損なわずにノイズを低減することができる反面、時間軸方向で変化の大きな映像では残像などのノイズが発生しやすい。

**3D Y/C 分離[スリーディー ワイシー ぶんり]**
**(three Dimension Y/C)**
Y/C 分離方式の一種。
映像の時間軸方向の相関を利用して、輝度信号(Y)と色信号(C)の分離を行う。
静止画において高品質なY/C 分離が行える反面、映像が動いている領域に対して適用すると、残像や網状のノイズがあらわれる。

**AC-3[エーシースリー](Audio Code Number-3)**
「Dolby Digital」を参照。

**ACL[エーシーエル]**
**(Automatic Contrast Limitter)**
映像の平均的な明るさを調べてコントラストを自動調節することで、階調の再現性を上げる機能。

**AGC[エージーシー](Auto Gain Control)**
信号の振幅レベルに合わせて信号の増幅率を調整する機能。

**APL[エーピーエル](Average Picture Level)**
平均映像レベル。

**CGMS-A[シージーエムエス エー]**
**(Copy Generation Management System – Analog)**
コピーガード信号の一種。

**DirectX[ダイレクトエックス]**
グラフィックスやサウンド、アニメーション、ムービーなどを扱うための Microsoft社のマルチメディア技術の総称。

**DMA転送[ディーエムエー]**
データ転送方式の一種。CPUを介さずに、デバイス⇔メモリ間で直接データを転送する。専用のコントローラが転送制御を行うため、CPUの負荷が軽減される。

**Dolby Digital [ドルビーデジタル]**
Dolby Laboratoriesが開発した音声の符号化方式。AC-3とも呼ばれる。
DVDやLDの音声圧縮形式として採用されている。

**DVフォーマット[ディーブイふぉーまっと]**
**(Digital Video)**
民生用デジタルVCRで採用されている圧縮形式。圧縮はフレームごとに行う。
映像部分のビットレートは約25Mbps。

**FourCC[フォーシーシー]**
**(two Dimension Noise Reduction)**
AVIファイルに使用されているCodecを識別するコード。
Windows標準のDV Codecの場合、'dvsd'が使用される。

**f特[エフとく]**
周波数特性のこと。
A/D（アナログ/デジタル変換）、D/A（デジタル/アナログ変換）を繰り返すことによって劣化していく。

**GCR信号[ジーシーアールしんごう]**
**(Ghost Cancel Reference)**
ゴースト低減処理用の基準信号。

**ITU-R[アイティーユー アール]**
**(International Telecommunication Union Radiocommunication Sector)**
国際電気通信連合の無線通信部門。
ITU-R BT.601は、ビデオ信号のデジタル化に関するITU標準勧告。
「BT.601」は、Broadcasting service (television)の601番目の勧告を示す。

**Locked Audio[ロックド オーディオ]**
映像信号を基準に音声を同期させる、映像と音声の同期方式。
映像の同期信号から生成したクロックで音声をサンプリングするので、長時間のキャプチャでも映像と音声のずれが生じにくい。
ただし、ビデオデッキのメニュー画面、ゲーム機の映像などの非標準信号を入力した時は、映像の同期信号に音声をうまくロックさせることができず、ノイズが発生することがある。

**MPEG[エムペグ]**
**(Moving Picture (coding) Experts Group)**
ISO（国際標準化機構）とIEC（国際電気標準会議）のワークグループである団体名、またはそれに策定されたデジタル動画を圧縮する技術。

**MPEG-2[エムペグツー]**
MPEG-1の拡張規格。
ISO（国際標準化機構）とIEC（国際電気標準会議）のワークグループ「MPEG」によって策定され、1995年に国際標準規格（ISO/IEC13818）となった。
MPEG-2は、現行のテレビ品質からスタジオ品質のHDTV（High Definition Television）までの動画再生をサポートしている。
現在は、DVDや衛星、地上波のデジタルTV放送などに使われている。

**R-Y軸補正[アールワイじくほせい]**
色合いを補正する機能。

**TBC[ティービーシー](Time Base Corrector)**
ビデオテープ再生時、ヘッドの回転ムラやテープの走行ムラに起因する映像の時間軸変動を補正する機能。

**Unlocked Audio[アンロックド オーディオ]**
映像と音声の同期手法で、映像と音声の同期を取らない方式。
映像と音声がそれぞれ独立したクロックでサンプリングされるので、長時間のキャプチャ時に映像と音声のずれが生じる場合がある。

**インターレース**

「くし」状の表示を2回行うことで、1枚の画を表示する方式。
そのため、ノンインターレースのモニタにインターレース映像を表示した場合、動き部分に「くし」状のノイズが発生する。

**動き検出**

3D Y/C 分離などの映像の時間軸方向に対する処理は、動画像に対して適用するとノイズが発生する。
そのため、映像の動き部分を検出し、その部分に対しては時間軸方向の処理を行わないようにする機能。

**黒伸張補正**

夜景などで本来暗い部分が暗くならない時など、暗い部分のコントラストを上げることによって映像にメリハリを付ける機能。

**ゴースト**

ある信号に対して、反射や遅延によって付加された余分な信号のこと。
映像信号では物が二重、三重像に見える。
一般に、テレビ映像のゴースト像は視聴者から見て対象物の右側に現れる。
視聴者から見て対象物の左側に現れるゴーストは、前ゴーストという。

**コピーガード信号**

コンテンツのコピー制限を行うため、著作権者によって映像コンテンツに付加されている信号。

**サブコントラスト**

輝度信号の増幅率。

**サブカラー**

色信号の増幅率。
Cbサブカラー(青)、Crサブカラー(赤)の二種類がある。

**白ピーク補正**

映像の極端に明るい部分のコントラストを調節することで、白飛びを抑える機能。

**デインターレース**

インターレース映像を、何らかの手段でノンインターレース映像に変換する処理。
プログレッシブ化とも呼ばれる。
インターレース映像をPCのモニタ上に表示させると、動きの激しい部分に「くし」状のノイズが現れるが、デインターレース処理を行うと軽減される。

**ノンインターレース**

上から順に画像を表示し、1枚の画を完成させる方式。

**ビートノイズ**

近接した二つの周波数の信号が干渉することで発生するノイズ。
チューナーからの映像に、薄い「しま」状のノイズとして現れることが多い。

**標準信号**

水平同期信号と色信号のインターリーブ関係が成立した信号。
通常のテレビ放送やビデオ入力の映像は標準信号である。

なお、ゲーム機の映像やビデオデッキのメニュー画面などは、非標準信号が多い。
非標準信号は、3D Y/C分離などの信号処理が行えず、Locked Audioモードも使用できない。

**プログレッシブ変換**

PCのモニタ上でインターレース映像を表示した際に発生する、「くし」状のノイズを除去する処理。

**マクロビジョン(Macrovision)**

一般に広く使用されているコピーガード信号の一種。

**リンギング**

映像信号の変化の大きな部分で、信号が波打ったように変化した状態。デジタルフィルタの特性によって発生することがある。

**輪郭強調**

映像内の物体の輪郭を検出し、強調する処理。
シャープネスの操作では映像のノイズも強調されてしまうが、輪郭強調機能を使用すればノイズを増やさずに映像のシャープさを増すことができる。

**擬似10bit出力**

8bitデジタル出力時、下位ビットに誤差拡散を行うことによって疑似的に10bit出力を行う機能。

# 仕様

| | | |
|---|---|---|
| TV チューナー | 受信TV ch | VHF:1～12ch　UHF:13～62ch　CATV:C13～C63ch |
| | TV音声 | ステレオ　音声多重 |
| | TV-RF入力 | F型コネクタ×1 |
| ビデオ | NTSC入力 | NTSCコンポジット/Sビデオ |
| | 映像調整 | 明るさ、コントラスト、色合い、鮮やかさの調整が可能<br>チャンネル周波数の微調整が可能 |
| オーディオ | 外部ライン入力 | RCAピン(L/R)×1 |
| DV圧縮 | キャプチャサイズ | Full D1(720x480) |
| | ビデオビットレート | 25Mbps 固定 |
| | オーディオビットレート | 1.5Mbps(48kHz), 1Mbps(32kHz) 固定 |
| | サンプリング周波数 | 48kHz, 32kHz |
| | DV(IEEE 1394)出力 | 4pin×1 / 6pin×1 |
| 電源 | | AC 100V　50/60Hz |
| 消費電流(MAX) | | 動作時　DC 5V：1A<br>DC 12V：350mA |
| 使用温度範囲 | | +5～+35℃ |
| 使用湿度範囲 | | 20～80%（結露なきこと） |
| サイズ | | 約180(W) × 180(D) × 50(H)mm<br>（スタンド・突起部含まず） |
| 質量 | | 約650g(ACアダプタ含まず) |

# お問い合わせ

## 本製品について

本製品に関するお問い合わせは弊社サポートセンターで受け付けています。

### 1 まず、弊社ホームページをご確認ください。

本書の【困った時には】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、News」などもご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

**http://www.iodata.jp/support/**　製品Q&A, Newsなど

また、添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

**http://www.iodata.jp/lib/**　弊社サポートライブラリ

### 2 それでも解決できない場合は･･･

住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
　　アイ・オー・データ第２ビル
　　株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話：　本社…**076-260-3646**　東京…**03-3254-1036**
　　※受付時間　9:30～19:00　月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX：　本社…**076-260-3360**　東京…**03-3254-9055**
インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

参考

**お知らせいただく事項について**

1. ご使用の弊社製品名。
2. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態
（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

## Ulead のソフトウェアについて

添付の「Ulead VideoStudio 7 SE」「Ulead DVD MovieWriter Advance SE for mAgicTV」「Ulead PhotoImpact 8 SE」「Ulead Cool 3D 3 SE」に関するお問い合わせは、ユーリードシステムズ株式会社で受け付けています。

**ユーリードシステムズ株式会社　ユーザーサポート係**

**住所：　〒158-0097　東京都世田谷区用賀4-5-16 TEビル**
**電話：　東京…03-5491-5662**
**※受付時間　10:00～12:00 13:00～17:00**
**月～金曜日（祝祭日を除く）**
**インターネット：　http://www.ulead.co.jp/**
**E-Mail：　上記Webサイトのサポートページよりお問い合わせください。**

## Adobe Photoshop Album Mini について

添付の「Adobe Photoshop Album Mini」に関するお問い合わせは、アドビシステムズ株式会社で受け付けています。

**アドビシステムズ株式会社　カスタマーインフォメーションセンター**

**電話：　東京…03-5350-0407**
**※受付時間　9:30～17:30**
**月～金曜日（祝祭日、弊社指定休業日を除く）**
**インターネット：**
**http://www.adobe.co.jp/support/products/photoshopalbum.html**

※ カスタマーインフォメーションセンターでは、製品概要や機能説明のご案内を行っております。製品の使用方法やサポートについては、インターネット内のデータベース（無償）をご利用ください。

## reserMail について

添付の「reserMail」に関するお問い合わせは、ADCテクノロジー株式会社で受け付けています。

**ADCテクノロジー株式会社　ユーザーサポート係**

E-Mail：　support@epoint.co.jp

**※ お問い合わせの際は、本製品名もお知らせください。**

**※ お問い合わせは、E-Mailでのみ受け付けております。**

## XVD Encoder plus について

添付の「XVD Encoder plus 機能制限版」に関するお問い合わせは株式会社ビー・エイチ・エーで受け付けています。

**株式会社ビー・エイチ・エー　テクニカルサポートセンター**

FAQ：　http://dlist.bha.co.jp/cs/index.asp

※ページ内の「超圧縮 XVD plus」をクリックしてください。

インターネット：　http://www.bha.co.jp/support/madoguti/

※ページ内のオンラインサポートをクリックしてください。

※お問い合わせをいただくには、ユーザー登録を行っていただく必要がございます。

TEL：06-4861-8234

受付時間：月～金曜日　10：00～17：00

土曜日　10：00～12：00、13：00～17：00

（毎月最終土曜日、夏期・年末年始・特定休業日、祝祭日を除く）

FAX：06-6378-3336

※ご回答には、2～3営業日お時間をいただく場合がございます。

# 修理について

## 修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

**●お客様が貼られたシールなどについて**

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

**●修理金額について**

・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。

※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。

※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

## 修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

**●メモに控え、お手元に置いてください**

お送りいただく製品の製品名、シリアル番号（製品に貼付されたシールに記載されています）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

**●これらを用意してください**

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

**●修理品を梱包してください**

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

**●修理をご依頼ください**

・修理は、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

## 修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

## 【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
   したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
8) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
9) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
10) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
    国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
13) テレビやビデオの映像は著作権法により保護されています。これらの映像は個人で楽しむ以外に利用しないでください。
14) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。


- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft, Windows, MS, Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。
- DirectXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Ulead Systems, Ulead Media Studio, PhotoImpactは、Ulead Systems社の商標です。
- “iEPG”および“iEPG”ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。



GV-MVP/IDV 取扱説明書

2003.12.05 146491-01

発 行　株式会社アイ･オー･データ機器

〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地



© 2003 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.